



松 明

(平成29年9月発行・隔月発行) 2017 vol.5



夕暮れ時の秋空 (看護部長室から撮影)

「高校生一日看護体験」を終えて

看護部 副看護部長 滝 口 佐知子

8月2日(水)、「高校生の1日看護体験」が開催されました。近隣の高校生9名が、明るい笑顔で目をきらきら輝かせながらやってきました。白衣に着替え、病院や看護部の紹介をする中、高校生からは「今日はどんな所に行くのか、何を体験できるのか」と積極的な質問が飛び交いました。

手術室体験ツアーでは、テレビで見ている世界を実際に体験できていることに素直に感動していました。手術台からストレッチャーへスライダーを使用しての移動や、てこの原理を利用したベッドからの起き上がり介助など、看護技術の原理を聞きながら、「力がいらぬね」「すごい」「患者さんの気持ちになれた」など素直な言葉が聞かれていました。

高齢者体験ツアーでは、装具をつけて高齢者の気持ちになりきること、危険を予測したり、優しくいたわる気持ちが芽生えるなど、貴重な体験をすることができて

いました。実際に、リハビリで入院中の患者さんとのコミュニケーションを通し、入院生活中の思いを聞くなど真剣に向き合っていました。2年目看護師からは、「皆さんが看護師になるのを待っています、頑張って勉強してください」とエールの言葉をもらうことで、将来の自分自身を思い描くことができたのではないのでしょうか。

意見交換会では、担当の看護師長・副看護師長も参加し、看護師として働く中でのやりがいや、看護は人の生活そのものを支える仕事ということなどを熱心に伝えることで、高校生1人ひとりの胸に響いた様子でした。

今後も、福島病院として未来の看護職を担う若い高校生の看護体験を積極的に受け入れていこうと思います。



本号のご案内

- 「高校生一日看護体験」を終えて 1
- 病院祭のおしらせ 2
- 病院祭にお越し下さい!! 3
- 須賀川市立第三中学校の学生が職場体験に来ました ... 3
- 看護部より 須賀川市釈迦堂川花火大会医療ボランティアに参加しました ... 4
- 看護部より 「フィジカルアセスメント研修」で看護力アップ! ... 4
- 療育だより ゴスペルコンサート 5
- 療育だより サマーショートボランティアを開催して... 5
- 看護学校だより 初めての実習を通して 6
- 健康プラザ アトピー性皮膚炎について 6
- 地域連携室だより 小児専門外来(予防接種)のご案内 ... 7
- NHO PRESS ~国立病院機構通信~について 7
- 外来担当医表 8

納得の医療で地域や社会に貢献

病院理念

福島病院では「納得の医療」で地域や社会に貢献を理念として掲げ、職員一同、●人間として対等な患者さんの目線に立ち、●分かり易い説明を行い、同意を得た上で、●安全・安心で質の高い、患者さんやご家族を始め、地域社会の方々、勿論病院職員など誰にでも納得していただける医療の提供を常に心掛けております。

国立病院機構福島病院

第10回

病院祭

心をひとつに
～新たな風に乗って、希望の明日へ～



10月7日 土 10:00～14:00
雨天決行
ところ:福島病院内

体験
コーナー



体験型スタンプラリー (先着プレゼントあります。)

フラダンス



フラハーラウ オー ラーヒキ

人形劇



劇団赤いトマトさん

吹奏楽



須賀川桐陽高校吹奏楽部さん

キッズ
コーナー



口笛ショー



レッドベコース (高木さん)

『納得』の医療で地域や社会に貢献



Fukushima National Hospital
独立行政法人国立病院機構

福島病院

〒962-8507 福島県須賀川市芦田塚13番地 ☎0248-75-2131 (代表)

病院祭にお越し下さい！！

管理課 庶務係（病院祭実行委員会事務局） 齊 藤 直 美

今年も福島病院祭を開催します（左ページのポスターをご覧ください）。今年のテーマは「心をひとつに～新たな風に乗って、希望の明日へ～」。現在、病院祭実行委員会を中心に病院職員が一丸となって、地域の皆様や患者様に楽しんでいただけるイベントになるよう、各担当に分かれて鋭意準備にとりかかっているところです。

今年は、10回目という節目の年でもあり、新たな挑戦として、全て屋内でのイベント開催となっております。当院で一番広い中央廊下にメインステージを置き、ステージ発表では、フラダンス、吹奏楽、人形劇、そして、口笛世界大会（女性の部）で日本初の2連覇を果たした「レッドベコーズ」の口笛ショーが行われます。その他に、キッズコーナーでは、スーパーボールすくい・水ヨーヨー・綿あめなどを無料で提供、販売コーナーでは、トン珍（焼きそば・中華丼など）、玉木屋パン、橋本農園（くだもの）等が販売する予定です。

外来待合エリアでは、アロマハンドマッサージや顕微鏡等の体験コーナーを実施します。また、会場全体を使

い「スタンプラリー」を企画しており、全て完成した際には先着順で景品を用意しております。

福島病院に来たことがある方も、来たことがない方も、この機会にぜひ福島病院祭にお越し下さい。多数のご来場をお待ちしております！



昨年の病院祭から

須賀川市立第三中学校の学生が職場体験に来ました

第3病棟 副看護師長 大野 麻衣子

8月22日（火）須賀川市立第三中学校2年生5名が職場体験のため、福島病院へ訪問されました。私は、手術室体験ツアーと看護体験ツアーを担当しました。手術室での手洗いや滅菌ガウン・手袋装着をすると、「テレビでよくやってるやつ！」と目を輝かせたり、「手袋入りにくい」「暑い」といった感想が聞かれました。そのままの格好で、手術室に入り、術者と助手をしていると、无影灯のまぶしさに驚いていたり、手術器具に触れざこちない手つきで術者を演じていました。看護体験では、聴診器で自分や他者の胸部や腹部を聴診して、「聞こえる！」「動いてる！」と真剣に聴診していたり、血圧測定では、「この数字で大丈夫ですか」と心配している様子がみられました。車いす体験は、実際に学校で高齢者体験をしたり、車いすを操作したことがあると話しており、生まれた時から高齢化社会に生きる中学生にとって、看護・介護は身近な存在なのだなと感じました。今回体験した内容は、看護のごく一部分にすぎませんが、今回

の体験から「看護っておもしろそう」「医療関係の仕事って何があるのかな」と興味を持ってくれる方がいたらいいなと考えています。



看護部だより

須賀川市釈迦堂川花火大会医療ボランティアに参加しました

第3病棟 副看護師長 相 楽 初 江

須賀川市釈迦堂川花火大会は東北4大花火大会の一つでもあり、今年で39回目を向かえる大きな催しです。8月26日(土)は県内外から約30万人の観客が集まり、須賀川の街中が活気に満ち溢れていました。また天候にも恵まれ、色鮮やかな浴衣姿の観客も数多く見られ大盛況で、花火大会が開催されました。

今年も須賀川市からの要請で多数のボランティアスタッフが動員され、その中の救護班として、福島病院からは看護師2名が参加しました。テーブル観客席の近くのイオンタウン内の第2本部に総合案内、警察、救護班が集合し、それぞれの任務につきました。大会中の様々な連絡が総合案内に入るため、救護や迷子などの情報も入りやすくすぐに対応できました。救護で行ったことは転倒による擦り傷や鼻出血など軽症の対応が主たるものでした。しかし、当日は遠方からの来客も多く、混雑していました。退院されたばかりの足腰の弱い方が歩行中に転倒したケースもありました。また新潟の高校で7月に野球部マネージャーの女子高生が低酸素脳症で亡

くなったというニュースもあったばかりなのでAEDの作動確認なども行い、迅速な連絡体制による的確な判断と対応が必要であるため、すぐに駆けつけることが出来るよう総合案内に入る情報に常に注意していました。

今回大きな事故もなく花火大会が終了したことの安堵感はひとしおでした。花火大会を支える多くの開催スタッフの協力があったからこそ成功だと実感しました。



看護部だより

「フィジカルアセスメント研修」で看護力アップ！

教育担当看護師長 菅 原 由香里

「あなたは外来看護師です。患者が『3日前からボツボツができ、痒くて食欲もない』と訴えています。考えられる疾患は何ですか？」こんな問いかけから始まる研修でした。外来看護師は患者の主訴を聞き初期対応する最前線にいて、瞬時のアセスメント力と行動が求められます。その力を高めるため各病棟と外来の中堅以上の看護師8名が研修に参加しました。

「フィジカルアセスメント」とは、問診・視診・触診・聴診・打診などを用いて患者の情報を収集・分析し、対応を考えることです。「身体診察技法」とも言います。

企画担当者は高野看護師長と穴沢副看護師長でした。2グループに分かれ、高野看護師長と蘇生人形を患者に見立て、患者の主訴から様々な「身体診察技法」を用いて、疾患を導きだしていきました。「虫刺され・アレルギー？」「風疹・麻疹・水痘は？」「そもそも何歳？性別は？」「湿疹の場所や性状は？」「バイタルサインは？」など、必要な観察をした結果、2グループとも『带状疱疹』であ

ると診断しました。その診断は合っており、何より診断理由が明確であったことにアセスメント力の高さを感じました。

9月7日に第2回目を行います。1回目の続きで、その患者が入院してきた時の看護計画と記録の書き方を学んでいきます。有意義な研修になることを期待しています。



7月26日(水)に福島県内外で活躍しているグレースインパクトクワイアさんによるゴスペルコンサートが開催されました。今回のコンサートは重症心身障がい児(者)病棟に入院されている全患者さんが対象だったこともあり、より一層会場は期待に満ちた雰囲気となりました。これ程多くの患者さん方が集まる機会も多くはないため、不思議そうな表情をしたり、他病棟の患者さんを見て緊張していたり、様々な思いを持って時間を迎えました。

コンサートが始まると患者さんを包みこむように響く歌声、息の合った手拍子、そして夢中な顔と楽しそうな声、最高の笑顔がその空間に溢れていました。曲目の中には普段から親しみのある歌もあり、思わず口ずさんだり、自然と体を揺らすようにリズムを刻んだりする姿も。コンサートが終わった後にはメンバーの皆さんと握手をしたり、一緒に写真を撮ったりして最後の最後まで楽しませて頂きました。病棟に戻ってからも、患者さん方の

耳からはゴスペルの心地よい歌声が離れないようで先ほど聴いた曲を楽しそうに歌っている様子が多く伺えました。素晴らしいコンサートをありがとうございました。



夏休み真っ只中の8月9日(水)、サマーショートボランティアを開催しました。この活動は、須賀川市社会福祉協議会が地域の学生等を対象に地元の福祉施設、医療機関での活動をととして、福祉・医療の仕事やボランティア活動に理解を深めてもらうために実施しています。当院も協力させていただき、今回は10名の高校生が参加されました。最初は重症心身障がいへの医療、看護、福祉について学び、各病棟の見学、その後介護される側としての車椅子体験を経て、患者さんとの療育活動を体験してもらいました。

今回は、ボウリングをチーム対抗戦で実施しました。投げるときにくじ引きで引いたボールを使うことにしました。どこに投げてもストライクが取れそうな大きなボールからピンにあたっても倒れないのではと思わせる小さなボールまであり、くじ引きを引いては大歓声、ピンを倒しては大歓声と楽しい活動となりました。最後は患者さん、ボランティア、職員全員でスカイバルーンと

いう遊具をはばたかせ、笑顔で活動を締めくくりました。一日の体験をととして、障害とともに生きていく方々へ寄り添う医療、福祉があることに気づいてもらえたらと思います。参加された皆さん、お疲れ様でした。



看護学校だより 初めての実習を通して

附属看護学校 14 回生 高橋 里加

私たち1年生は、7月27日(木)に初めて病院で実習をさせて頂きました。この実習では病棟・病床の構造や環境を知り、患者さんによりよい環境整備ができないか考えることが目標でした。私は、重症心身障がい児(者)病棟で実習をさせて頂きました。講義で学んだ知識とともに病棟を見学し、オープンスペース、廊下や窓の装飾といった病棟ならではの構造には特に刺激を受けました。重症心身障がい児(者)の方と関わるのは初めてで、どのようにコミュニケーションをとれば自分の気持ちが伝わるのか不安もありました。しかし、看護師さん達は患者さんの身体に優しく触れて、終始笑顔で話しかけており、伝えようとする気持ちが一番大切なのだと感じました。実際に患者さんに関わらせて頂き、柔らかな優しい表情を私に向けて下さったことで、実習前の不安は消え、とても心が温くなりました。また患者さんを取り巻く環境には、看護師も人的環境として大きく関わっていると学びました。患者さんの個別性をアセスメントし、

環境を整えることが看護の重要性であり、私たちに求められていることです。これからは知識と技術を兼ね備え、患者さんの癒しとなれるような看護師になるために、実習で得た多くの学びをこれからの学習に活かし努力していきます。沢山のことを学ぶ機会をくださった患者さんと看護師の皆さんに感謝致します。



健康プラザ

アトピー性皮膚炎について

検査科 臨床検査技師 早坂 美保

多くの罹患患者がいるアトピー性皮膚炎ですが、痒みとの戦いは非常に辛いものです。ぶり返しも多くみられます。アトピー性皮膚炎の病態は皮膚バリア、アレルギー炎症、痒痒の3つ要素があります。

アレルギーでは食物アレルギーや環境アレルギーがアトピー性皮膚炎を悪化させることがあります。アレルギー除去食がアトピー性皮膚炎の治療に有用でない事も多く不適切な除去食は発達障害の問題もあるので、医師の指導の下に行う必要があります。

また環境アレルギー(ダニ・ハウスダスト)も同様に症状を悪化させる因子ですが、これらの除去のみでアトピー性皮膚炎が完治するわけではありません。薬物治療とスキンケアの補助的役割となっています。アトピー患者の場合皮膚バリア機能が弱く、非特異的な刺激に対しても皮膚の被刺激性が亢進し炎症が起こりやすくなっています。空調・乾燥した環境などが影響しさらに皮膚のバリア機能を低下させます。アトピー性皮膚炎症状が出ている時はもちろん、治療後の症状が落ち着いた時(寛

解)も皮膚の保湿は重要になってきます。薬を使用しても悪化した場合などは、薬の使用量が足りていない恐れがあります。

特に1回量はしっかりと使用し数日間症状を改善させることが大切です。

症状が改善した後でもアトピー性皮膚炎の病態をよく反映するTARC値は正常値まで下がらないことが多くみられます。ここで治療をやめてしまうとぶり返してまた悪化したという事にもなりかねません。このため症状が改善したのちに、患部だけでなく、週に2回ステロイド外用薬を使用するプロアクティブ治療(予防治療)をすることで、再発が低減出来ます。



当院では、小児専門外来にて予防接種を実施しております。さまざまな感染症から子供たちを守るためにも、ワクチンを計画的に接種し確実に免疫をつけることが大切です。

定期接種は対象年齢の間に接種した場合は無料ですが、その年齢を過ぎると有料となってしまいます。対象年齢の間に確実にワクチン接種を受けましょう。おたふくかぜワクチンは1歳以上であれば任意接種（有料）として接種できます。おたふくかぜ（流行性耳下腺炎）は重症化すると難聴など後遺症を残すことがあります。定期・任意にかかわらず基本的にワクチンで防げる病気はワクチンで防ぐ必要があります。

当院では一人一人の患者様のワクチン接種管理表を作成し、対象年齢の間に安全に実施できるようわかりやすくご説明をさせていただいております。

ワクチンに関する疑問や予防接種のスケジュールなどぜひ当院へご相談ください。

●小児専門外来（予防接種）

診療日 月・水

診療時間（予約制）

月曜日：13：30～15：00

水曜日：9：00～11：00 13：30～15：00

電話での予約 0248-75-2259

（平日の13時～17時までお電話ください）



NHO PRESS～国立病院機構通信～について

福島病院は、国立病院機構（NHO：National Hospital Organization）という143の病院からなる国内最大級の病院ネットワークの病院です。

国立病院機構（NHO）という病院ネットワークが、どのようなグループでどのような活動をしているのかを紹介する『NHO PRESS～国立病院機構通信～』を発行しています。受付や待合室に設置していますので、ぜひご覧になってください。

なお、ホームページに最新号と過去のもので掲載していますので、そちらもぜひご覧になってください。『NHO PRESS』で検索してください。



NHO PRESS

検 索



QRコード

●外来担当医表●

外来担当医は都合により変更となる場合がありますので、ご了承ください。

【平成29年9月1日より】

区 分	月	火	水	木	金
内 科 1	安 田 千 尋	安 田 千 尋	小 杉 茂	大 戸 斉 ※	安 田 千 尋
内 科 2	佐 藤 由 紀 夫 (第1・3)			山 根 完 二	
検 査				安 田 千 尋	
神 経 内 科	熊 谷 智 広 (第3)				
小 児 科	石 井 勉 (2・4) 福 島 医 大	氏 家 二 郎 勉 石 井 二 郎 勉	廣 瀬 千 穂	氏 家 二 郎 大 福 島 医 大	河 原 田 勉
専 門 外 来 (発達小児クリニック)		氏 家 二 郎 勉 石 井 二 郎 勉			河 原 田 勉
専 門 外 来 (小児神経外来)	平 山 恒 憲 (第2)			石 井 希 代 子 (1・3・5) 加 藤 朝 子 (2・4)	
専 門 外 来 (小児循環器外来)			桃 井 伸 緒 (第2・4)		
小 児 専 門 外 来	予 防 接 種 (午後)		予 防 接 種 (午前・午後)		
整 形 外 科	古 川 浩 三 郎 (予約制)				
小 児 外 科		清 水 裕 史 (第1・3)		山 下 方 俊 (第2・4)	
小 児 心 療 内 科					星 野 仁 彦 (月1回)
脳 神 経 外 科		福 島 医 大 (第2・4)			

※神経内科、小児神経外科、小児心療内科は再来のみとなります。

※大戸斉先生の診療日についてはお問い合わせください。

●外来受付時間は8:30～11:00までです。急患については随時受付いたします。

●外来担当医表は平成29年9月1日時点のものです。その後担当医が変更になっている場合もありますので、当院ホームページ、院内掲示等をご確認下さい。

●4月から専用ダイヤルができました●

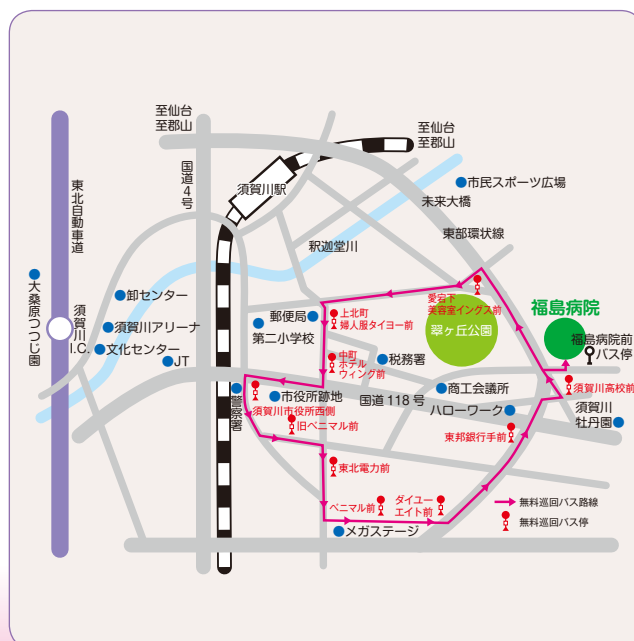
診療のお問い合わせ・ご相談 (月～金 8:30～17:15)

診 療 の 予 約 ・ 変 更 等 (月～金 13:00～17:00)

専用ダイヤル 0248-75-2259

●編集後記●

今年の夏は雨・台風・ゲリラ豪雨、そしてミサイルまで降ってくるかも？とまったく夏らしさがなかったですね。どうせ降るなら、高級肉とか秋刀魚とかお金とか…もっといいものが降ってこないかな～と思うのは私だけでしょうか？10月には病院祭もありますし、晴天に恵まれるといいですね。皆さん準備ががんばりましょうね！ (編集委員S)



Fukushima National Hospital
独立行政法人国立病院機構

福島病院

〒962-8507 福島県須賀川市芦田塚13番地
☎0248-75-2131 (代表)

<http://fukushima-hosp.com/>